

新春の慶びとAAFC20周年に想う



顧問  
高橋 敏郎

当クラブは今年設立20周年を迎える。創立以来丸20年間、月に二回の例会を初め幾多の催しを途切らずことなく続けてきた実績は同好会の類ではほとんど例をみないようであり、並大抵なことではなかったはずだ。歴代の会長・理事諸兄以下、多くの会員の皆様による日頃の地道なご努力、並びに地域の方たちの絶大なご支援があつて初めて達成し得た快挙といえよう。

我々にとつて音楽とかオーディオは単なる娯楽・エンターテインメントというよりもつと自身の根源に深く根差した人生そのものであり個人的損得勘定を超越した別次元の世界である。言い換えれば自身をトーン燃焼させるに値する掛けがえのない存在であり、しかもその成果を多くの同好の仲間たちと共有できればその喜びもまた一入といえる。このことをいちばん実感されているのは、他でもない当クラブの会員諸兄ではあるまいか。

この20周年では皆で企画した諸々の催しを着実に遂行しながら、同時に本来のこうした意義・目的を再確認できたと思う。そして会員間だけでなく、音楽・オーディオを通して周辺地域の人々との一体感を一層強めながら、引き続き次の二五周年、更には五〇周年を目指しつつその中核的存在として共に発展していかうか。

この記念すべき年をそうした将来への第一歩として是非とも実りある契機の年にしたいものである。

／明けましておめでとうございます／

今年是我がAAFC（我孫子オーディオファンクラブ）の創立20周年の記念すべき年に当たります。我孫子市視聴覚室で産声を上げて、初めは10数名の会員から現在は60名を超え例会、分科会などの他コンサート、観桜会、元氣会、旅行、見学会、ホームページなど多様な活動を繰り広げ会員のみならず地元の皆様にも愛されるクラブに成長できました。

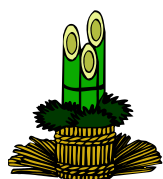
これもひとえに会員各位の暖かいご協力とご理解の賜物と厚く御礼申し上げます。

創立20周年を迎えるにあたり、記念行事としてSPレコードを復刻したCD、モーツアルトの三大オペラのディスコグラフィ、20周年記念写真DVD集、パンフレット、記念パーティ、記念コンサートなどを計画しています。

ホームページはアクセス数が7万件を超え、これを見た方からの問い合わせ、入会も増え会の活動の大きな原動力になっていきます。会員の皆様の豊かな人生に少しでもこのクラブがお役に立ち、実りある趣味・同好の会としてこれからも発展できるよう頑張りましょう。



会長  
佐藤 久男



副会長  
脇田 隆夫

お前が無駄に過ごした「今日」は昨日死んだ誰かが死ぬほど生きたかった「明日」なんだ

20年前何をしていたか。転勤で札幌にいた。休日は家内と長距離ドライブ＆山歩き、冬は日帰りスキー！：何しろスキー靴を履いた儘で往復OK。上手くなる筈ですが……

自宅の装置は動かしたくないのでエレボイの小型3ウェイ、ミュージカルフイデリティのプリメインを現地購入。持参したマランツCD34で聴いていた。阪神淡路大震災、忌まわしいオームサリオン事件も札幌で知った。あの頃、故井上会長がAAFC設立の産声を上げていたのです。

我孫子へ戻りもう転勤はなからうと家を建て替える。大音量で聴ける部屋が出来た。早速 故名物親父さんのヒノオーディオでバックロードキャビを入手した。その年の秋、広報あびこでエスパのオーディオコンサートを知る。たしか山本さんの司会、濃厚で真摯な人柄が印象的。最後に全会員が勢揃いしてのご挨拶、参った。即入会を決めた。オーディオ心に火が付いてSPだけ残し、あとは全部買い替えた。

入会してから会が二分した事もあった。例会場が撤去され存続の危機もあった。それでも地道に活動を積み重ねた。市教委、つくし野・久寺家各自治会のご厚意もあった。海抜ゼロ米から登り始めて2千米はもう間近。登り続ければ次は3千米となるだろう。霧で路迷い、雨、風、雪、雪崩、滑落もあるだろうが、今や音楽にオーディオに、もろもろに含蓄ある方が60名を超えた。量は質に転化する：素晴らしい仲間がつくるAAFCは更なる高みに立つことだろう。「男子三日会わされば括目して見よ」日々大切に励む年にしたいものです。



幹事長  
山本 一成

「何とも不思議な感じがする」今年20周年を迎える我がクラブ。正直こんなに長続きをするとは考えだになかった。亡き元井上会長の呼びかけで当初10人足らずでスタート。数年は毎回の例会参加者4人程度、いつ消滅してもおかしくない時期が続いた。

その後、少し軌道に乗り始めたころ、当時の当弱小クラブも多分に漏れずグループ分裂騒ぎが発生。技術を持った優れた自作派の会員が一本に抜けてしまったのである。突然の会員の激減。更に追い打ちをかけるように、定例会場が二転三転する事態、クラブにとって本当に厳しい時期であった。

立て直した大変な苦勞を会員皆が味わった。しかし、この騒動が分岐点となって、会員の構成も変わり、クラブの進んできた方向、雰囲気が変わっていったように思う。それから、会の組織を整え、理事會を定期的に開催、地道ではあるが様々なイベントにチャレンジが出来た。我孫子市との共催事業にも参加でき、会員も昨年で60名を超え、強い基盤が出来上がってきた。素晴らしい集まりで、その底力を心から感じざるを得ない。

創立20周年の年。記念事業が目白押しでその成功を果たし、次の飛躍の年になるよう会員の力を得て微力ながら尽力したいと考えている。会の理念「人生は一度しかない。これからの人生は一度を糧として生き活きと輝いて生き」を忘れずに。